（様式－3）

再　発　防　止　対　策　書

関東支部

発　生　日　時	令和7年2月7日（金曜日）8時38分							天　候	晴	
災害の程度	死亡　　名		負傷　1名		職種　架線作業員		年令39 才		経験年数24年	
工事の種類	調査 測量	伐　採	運　搬	仮　設	基　礎	組　立	足　場	架　線	撤　去	その他
災害の種類	墜落・転落	転　倒	物の飛来・ 落下	崩壊・倒壊	はさまれ・ 巻き込まれ	切れ・ こすれ	感　電	その他		
原　　因	作業準備 の不良	作業方法 の不良	工具防具 の不良	電気工作 物の不良	作業者 の過失	共同作業 者の過失	その他			
設　　備	電圧66kV		4 回線	電線 ACSR/AC240㎜2 単導体		地線:OPGW60㎜^{2}　1条 AC70㎜^{2}　1条				
件　　名	鉄塔建替工事中，停止状態の誤認に起因した感電災害の発生について									

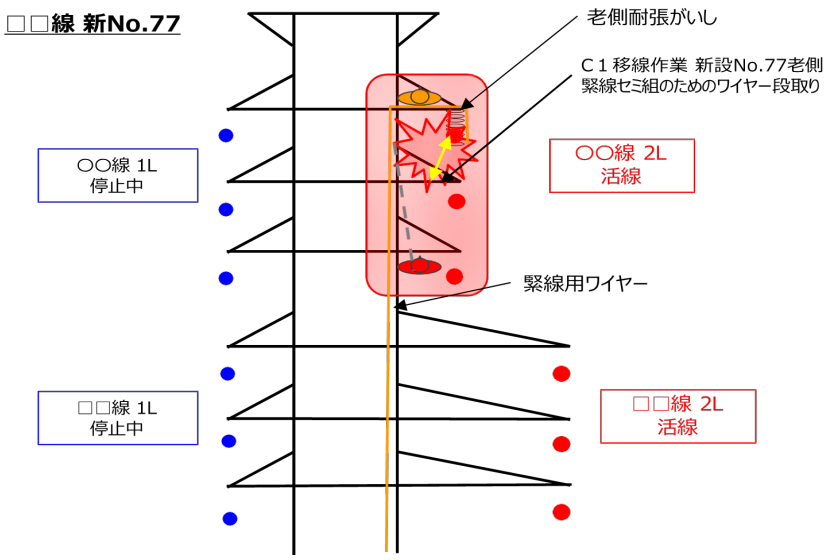
災害の状況	・当日の移線作業に向けて，C1腕金にて塔体側に寄せて吊り下げていたがいし連を直吊りにするため，振れ留ロープの端末を持ちながら送り出しを実施。端末を持って送り出した際に徐々に腕金先端へ移動したところ，充電部に接近し感電した。
	【被災程度】　感電やけど（背部，右上肢，両下肢熱傷）
	【装備】　　作業着（上・下），安全帽，安全靴，革手袋，墜落制止用器具装着あり
原因及び対策	1.災害発生の主原因
	①停止受渡し前のルールが教育資料に具体的に明示されていなかったため，口頭のみの教育となっていた。
	②休工期間の系統状況を施工計画書に記載することが明確に定義されていなかった。
	③停止管理に関する実施事項の目的や背景が，標準仕様書や教育テキストに具体的に明示されていなかった。
	④元請は停止に関わる判断を複数人で確認するルールを決めていなかった。
	⑤現場代理人の管理能力を把握する仕組み及び管理能力に応じてフォローする仕組みがなかった。
	2.再発防止対策
	①見直しを実施した「停止受渡作業教育テキスト（東電PG）」により社員教育を行う。
	②東電PGから指示される休工期間も含めた系統状況を，具体的に施工計画書に記載する。
	③停止管理は複数人のチェックにより適切に実施する。
	④工事管理箇所と元請が，現場代理人の経験知などから，東電PGの工事監理区分と比較して，当該現場の安全管理について協議する。

（注）1.　「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に〇印を付ける。

2.　災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

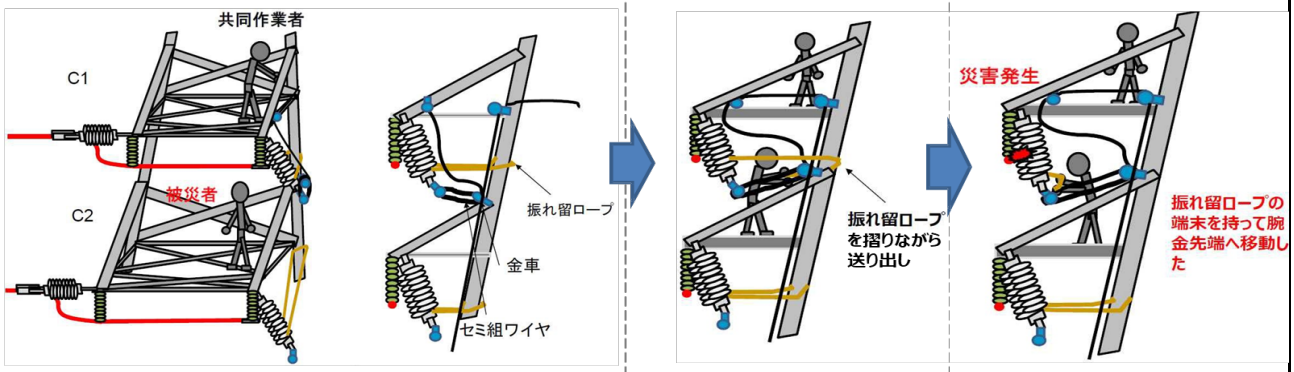
（様式－2）

災　害　概　要　図

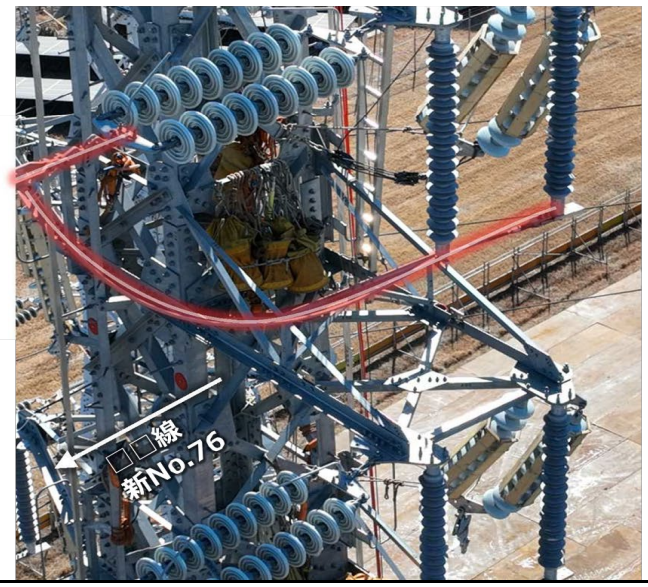


- 被災者は線路の停止受け渡し前に，C2腕金において，共同作業者と共にC1腕金に吊下げているがいし装置へセミ組ワイヤの設置作業へ着手（Step①）
- その後，振れ留ロープで塔体側に寄せているがいし連を直吊にするため，振れ留ロープを擦りながら送り出しを行った。（Step②）
- 振れ留ロープを鉄塔主柱材にまわして設置していた状態では，送り出し時のロープ長が足りないことから端末を持って送り出した際，徐々に腕金先端へ移動して行き，充電部に接近し感電した（Step③）

Step①（作業前）　**Step②**　**Step③**



<災害発生箇所全景>



<C2腕金，C1電線>